

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 5年 3月 9日

事業所名 富士宮市立あすなる園

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。	○		・活動内容に応じた安全への配慮に加え、一人ひとりの主体的思いに考慮した工夫を心掛けている	
	2 職員配置数は適切であるか。	○		・仕事量の把握と円滑に業務を進める手立てとして業務一覧の作成を実施している	
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	○		・一人ひとりに応じたスペースの確保、構造化の工夫を行っているが、常に検証、改善を心掛けている	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・活動によって連携を取りながら環境設定を工夫している	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		・日々の業務をPDCAサイクルに落とし込む隙間時間の活用を心掛けている	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	○			
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	○			
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	○		・職員の学び合いの場として園内研修をグループワークによる主体的、意欲的な学びの機会として確保するようにしている	・時間の確保にさらなる工夫が必要

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	10	○			
	11	○			
	12	○		・保護者の意向、思いを汲み取りながら子どもの姿をしっかりとらえ日常の支援につながる支援計画になるよう検討している	
	13	○			
	14	○			
	15	○		・子どもの姿に応じたスピード感を持った対応を心掛けている	
	16	○			
	17	○		・クラス単位の打ち合わせや環境設定の実施、全体打ち合わせの時間の確保と情報共有がしっかり行えるよう職員間で連携、協力している	
	18	○		・クラス療育終了後も個別活動やサポート番、面談、書類、療育準備など各々業務が多岐にわたるがカンファレンスの重要性は認識しており意識をもって時間の有効活用を心掛けている	
	19	○			
20	○				

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか。	○			・保護者の要望に応じつつ職員全体の専門性を高めていくことが必要
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか。	○			
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか。	○		・嘱託医と半年に1回「安全委員会」を設け、現状報告やヒヤリハットなどについて報告や確認等をしている	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか。	○		・看護師が主導しながら担任も参加し情報連携の工夫をしている	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・子どもの様子や予想される姿を保護者とも共有しながら交流保育を実施している	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・研修などの機会を通じ、共通理解や情報共有に努めている	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	○			
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。	○		・コロナ禍の安全に配慮し全体交流ではなく個人交流に取り組んでいくようにした	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○			
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・送迎時や必要に応じ面談時間を設け保護者の要望には応えていけるよう努めている ・職員間における情報共有の担う役割の大きさも理解し担任のクラス外交流も意識的に取り組んでいる	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか。	○			

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○			
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会などを開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。	○			
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体勢を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・毎月園だよりを配付するとともに行事の詳細などをクラスごとの状況を踏まえた形で配付している ・ドキュメンテーションを活用し療育室に日々の様子を掲示している ・必要に応じて一斉メールで連絡している 	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか。	○			
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			・外国籍の子どものことばを理解したり保護者に伝える際の難しさがある
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		・コロナ禍のため、密を避けるべく行事では外部の方を招くことを自粛

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
非常時などの対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・年度初めに危機対応マニュアルを配付している ・警戒宣言発令を想定した引き渡し訓練の実施や不審者対応訓練などをより具体的な状況を想定して実施している	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・入園時のアセスメントや面談などで把握し保健調査票で確認している	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	○			
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。		○	・身体拘束を行わないという共通認識を職員間で持ち、身体拘束を行っていない ・虐待マニュアルを作成し、職員間の共通認識に繋がるようにしている	